マッチ売りの少女（1967）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　Color
時間　18分
初公開日 1971/12/12
公開情報 東宝

【解説】
「アンデルセン童話」の中の最も有名な一編を、人形アニメーション化した作品。厳寒の大晦日、マッチ売りの少女が街頭に立つ。彼女はマッチを全部売るまで帰宅するなと、厳しい父親に命じられていた。馬車にはねられかけて靴を無くし、雪を避けて近所の軒下に立つ少女。せめて暖を取ろうと商売もののマッチを擦った際、その炎の中に生前、少女を可愛がってくれた優しいお祖母さんの姿が浮かぶ。国産人形アニメーション分野で、一時期、精力的な活動を続けた学研映像局の作品。少女が見る夢の場面には化学薬品を用いたエフェクトなど特に試行錯誤が為されたが、最終的には色紙が効果的に用いられた。作品は1967年7月に完成していたが、一般には1971年暮れの「冬休み　東宝チャンピオン祭り」の中で上映された。CVは関根信昭、里見京子、新道乃里子など、東映動画（現・東映アニメーション）の人気SFアニメ『レインボー戦隊ロビン』ゆかりの面々が登場している。

【クレジット】
演出　渡辺邦彦
製作　原正次
企画　石川茂樹
原作　ハンス・クリスチャン・アンデルセン　Hans Christian Andersen
脚本　神保まつえ
撮影　平井寛
美術　中川涼
音楽　林光
声の出演　内村軍一
須永宏
関根信明
加藤玉枝
里見京子
坂本和子
伊島幸子
新道乃里子
飯田桂子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.